

安売りしない人生

ステレオタイプに論ずるつもりはありませんが、自分の進路について「挑戦しない生徒」が多くなっているように感じます。推薦入試で受かりやすい大学で妥協してしまう。国公立大学をはじめ3月に実施される後期入試までチャレンジしない。国公立大学や有名私大より自宅から通える私大に進路を限定してしまうなど、我々指導者の目から見ると「惜しいな」と思える生徒が増加していると思います。今回は、進学先の学校をどのような観点で選ぶかについて考えてみます。

まずは、「合格圏内にあるかないか」です。この観点の問題点はどの時点の学力を基準にするのかです。私見ですが、学力の伸長には最低でも3カ月はかかると思います。ただし3年生の場合集中力が高まればその期間が短くなることもあります。こうした事実から年内に推薦で妥協してしまう人は合格後の数カ月の可能性をどう判断するかが問題になってきます。もちろん、推薦入試に全て問題があるわけではありません。推薦のメリットは教科学力だけではなく総合的に実績を判断してもらえ、教科の実力以上の大学を狙えることにあります。推薦入試を選ぶ理由を改めて問う必要があります。

次に、「入学後ともに学ぶ仲間」も観点の一つです。学問や人生に前向きな学生が自分の周囲にどれだけいるのかは充実した学生生活を送るうえで重要です。3月の探究活動の学校発表会で最後に発表した先輩は先日電話で「地元の私立大学で妥協せず筑波大学へ行って良かった。刺激的な仲間や先生が多くて毎日自分が高められていくのを痛感する」と近況を伝えてくれましたが、まさに自分を成長させる環境として最適な選択をしたといえるでしょう。もちろん、こうした仲間や環境は卒業後も続くという意味で、「母校選び」でもあるということを忘れてはいけません。

さらに、「専攻や学部が自分の関心や将来の夢に合致しているか」も不可欠な基準です。そしてその判断のために必要なのが「お試し」です。例えば車を買うのにまずは試乗するのと同様に、自分の将来につながる学びについて試したうえで選択することは進路選択の基本です。探究の時間や各種の講話が設定されているのはそのためです。学校見学を含めこうした機会を主体的に活用しましょう。

最後に、人生の選択について全盲の学者シーナ・アイエンガーの金言を紹介してまとめとします。

「自分を知っているから選択できるのではない。選択を通して自分を知らるのだ。」(文責：今井)

♪ 進路 NEWS ♪

7月の進路関係行事（学年別）

1年生	2年生	3年生
16日 三者懇談 ～23日	16日 三者懇談 ～23日	16日 三者懇談 ～23日
1・2年生の皆さんへ 夏休みの時間を使って、各大学が主催するOCや学校説明会に足を運びましょう！時間がある内に、自分が学びたいもの、将来やりたいことを考えていきましょう！		17日 共通テスト出願説明会 17日 小論文・志望理由書講座（希望者） 27日 全統共通テスト模試

《学校外の行事》

19日～20日 **河合塾主催 大学合同オンライン説明会**

…113の大学が参加する説明会。要事前申込。

26日 **職業体験フェスタ(さんぽう主催)**

…7つのコース（観光関係・医療関係・栄養）に分かれて専門学校で体験をおこなう。要事前申込。

(文責：梅村)

♪ 探究の窓 ♪

東大金曜講座に参加しよう

東大金曜講座を担当しています。今年は生徒の希望者が少なくてすごく残念です。何故かというところと最先端の学問に直接触れる機会を逃しているからです。この講座はだれでも聞けるものではなく東大と連携している高校（多治見高校もその中の一つ）や大学にのみ URL が公開され参加できます。ただ録画をして後から聞くなどは契約で出来ないこととなっています。その時のみの講座なので部活や塾などで参加は制限されるかもしれませんが、少しでも機会があれば時間を作って参加をしてください。学校で参加しなくても自宅で URL を教えますので視聴することもできます。これは東大の正式な講座です、ボランティアなど特別なことをしなかった人でも自分の「行動の記録」の中に東大金曜講座参加を記入できます。

さて、これまで数年間講座担当者として参加者と視聴覚室にて聞いてきました。講座はまずは高校生に興味を持ってもらうため最初は講師の中学や高校時代の思い出から始まります。名古屋の菊里高校など近くの高校の名前が出て来たりします。内容は、対象が高校生（中学生）なので写真なども入り分かりやすく説明していただけます。気が付くと、古典、美術、世界史、どんな講座もどんどん引き込まれました。理科の教師ですが、「源氏物語」は最高に興奮しました（録画禁止で今では聞くことができませんが）。どの講座も新しい知識が増え誤りを正されます。それ以上に、そのあとの参加している生徒（高校生だけでなく時には中学生も）の質問が素晴らしいのです。ここまで気が付くのかなど「目から鱗が落ちる」気がします。同じ高校生として講座を聞いた後の質問も注目です。そのため、私は少しでも面白そうと思った講座を今では参加者がいなくても一人で聞いています。知るは楽しみといえます。すこしでも進路に関係することや興味がある題であれば、最先端の学問に触れる機会です。参加しよう。

（文責：川嶋）

♪ 学年の窓 ♪

最近実施したアセスメントテスト・模試を振り返ろう（1年）

① 学びみらい PASS (R-CAP for teens、LEADS)

6月19日に実施した河合塾のアセスメントテスト「学びみらい PASS」の受験結果が Web 上で閲覧できます。受験した時と同じように、みらい PASS ナビにログインして確認して下さい（結果の見方は教室に掲示されています）。受験結果が見られるのは次の2つのアセスメントテストです。

○R-CAP for teens

興味・関心を測ります。文理選択の参考にするだけでなく、職業適性や学問適性の適合度も載っていますから、その中でこれまでよく知らなかった職業・学問分野について調べてみましょう。

○LEADS

学習状況・将来への意識を測ります。1日の時間の使い方を見直し、時間の有効活用するきっかけにしてください。

② 進研模試（ベネッセ総合学力テスト7月）

6月28日に実施した進研模試の自己採点はどうだったでしょうか？手応えがあった人も課題がたくさん見つかった人も自己採点して終わりではもったいない！解答解説でしっかり復習しましょう。

また、自己採点で使用したマナビジョンを使って復習することもできます。マナビジョンでは、個々の自己採点結果に合わせて、復習してほしい問題をピックアップしてくれる「復習優先問題に取り組む」機能があります。1度ためしてみたいはいかがでしょうか。なお、紙の成績結果は夏休み明けに配布予定ですが、それに先だって8月8日にマナビジョンで成績が公開されます（※）ので夏休み中に確認してみましょう（※28日当日に受験した場合）。

（文責：塩原）